

備を行い、本町の地域スポーツ振興に努めます。

意見・要望
落合地区の地域振興に力をいれていただきたい。

回答
この落合地区は、林業で栄えた地域でしたが、木工場が消えて、落合の自然に魅せられたアウトドア関係者により観光産業が盛んになっており、カーリング施設がある落合に新たな産業基盤の構築は、大変難しいものがあります。町行政としても、地域振興に努めておりますので、ご理解をいただき、住まわっている皆さんからどのような地域振興ができるのか、ご意見をいただきながら、地域と行政が一体となった地域振興を図ってまいりますので、ご協力をいただきたいと思います。

意見・要望
ふくしあ周辺に空家が目立ち、強風が吹く場合は、子どもたちの通学もあり危険を感じますので、町行政としても安全確保に協力をいただきたいと思います。

金山地区
金山地区コミュニティセンターの一般用トイレが全て和式で不便ですので、一部でも洋式化してほしいです。

回答
洋式化を図ります。



意見・要望
ふくしあ周辺において福祉施設などの整備計画があり、今後計画実施と併せて検討いたします。

回答
ふくしあ周辺において福祉施設などの整備計画があり、今後計画実施と併せて検討いたします。

意見・要望
空き公住などの町営住宅の入退去の異動があった場合、入退去者の仕事などの都合から面接出来ず、随時町内会と

回答
ふくしあ周辺において福祉施設などの整備計画があり、今後計画実施と併せて検討いたします。

して世帯の把握が難しく、町に適切な戸数の報告ができない。

回答
自治会推進条例に基づく双方の役割の中で、行政情報の提供を住民皆様に円滑に行うため、世帯数の把握が必要となります。

意見・要望
南富良野高校の部活動の関係ですが、部活の新設の条件が少し厳しいと感じます。カーやカーリングが中心になることや、新設するのに条件があることは理解できませんが、現状の部活の数からいって、もう少し弾力的な考えにはならないのでしょうか。

回答
部活動は学校管理下において行われるもので、生徒の活動の責任の所在などがあり、生徒個々に自由に部活を作り

活動することはできませんので制約があります。

意見・要望
駅前には「鉄道員」の口セッットを展示しており、今も多くの観光客が見学に訪れていますが、セッットの老朽化もあり、今後どうするか歩道の舗装化も併せて検討します。

意見・要望
歩道の花壇は、歩道に隣接される方が管理していますが、高齢化により十分管理できなくなってきたと感じています。何も植えられていない花壇は歩行者や自転車の走行に危険ですので、花壇を撤去して全面舗装などを検討してもらえないでしょうか。



回答
地域コミュニティの促進などを目的に当時整備したものです。今後検討させていただきます。

意見・要望
幾寅小学校の改築計画がありますが、改築における町内の山林資源の活用などについてお聞きしたい。

回答
中学校同様暖房には木質バイオマスボイラーを設置し、活用するよう計画しています。なお、内装については学校林を含め、町内の木材を活用できないか、現在検討しているところです。

北海道社会貢献賞受賞

レディース100年の森・林業グループ

永年にわたり本町の緑化の推進、指導及び森林の環境教育にご尽力されたレディース100年の森・林業グループ（川村文子会長）が、北海道社会貢献賞（森を守り緑に親しむ功労者）を受賞され、12月18日に札幌市内のホテルにおいて行われた表彰式で高原油二副知事から授与されました。

平成24年度北海道社会貢献賞表彰式



受賞された皆さん（中央左 岡崎水産林務部長）

0年の森・林業グループは、平成2年に町内のカラマツ林13haを公募により取得された女性の皆さんが、「林業を育みながら生活環境にうるおい」を共通のキーワードとして交流を深めたことを契機に、平成3年6月に道内で初めての女性林業グループとして設立された団体です。その活動は、所有する山林の枝打ちなどの保育作業や生活環

境教育など広く活動しながら、グループへの理解を深める活動を続けていきます」と述べられました。

この表彰は、北海道が農業経営の改善や起業、農村生活の充実、地域の振興などのために、積極的に活動している女性農業者や高齢者の活動成果を、広く紹介するため毎年行われていました。この表彰は、北海道が農業経営の改善や起業、農村生活の充実、地域の振興などのために、積極的に活動している女性農業者や高齢者の活動成果を、広く紹介するため毎年行われていました。

平成24年度女性・高齢者チャレンジ活動表彰

農産物直売所「作倶楽」最優秀賞受賞

下金山において採れた野菜などを直接消費者に販売している「作倶楽」（前川美根子代表）が北海道が行っている平成24年度女性・高齢者チャレンジ活動表彰の最優秀賞に選ばれました。

この表彰は、北海道が農業経営の改善や起業、農村生活の充実、地域の振興などのために、積極的に活動している女性農業者や高齢者の活動成果を、広く紹介するため毎年行われていました。



地域の「人がつどう空間」を取り戻そうと自分たちが栽培した野菜の直売所を平成18年から開設し、旬な野菜を提供できる6月から10月までの間、毎年販売しています。「いきいきとした郷づくり」をキャッチフレーズに地域の活性化をめざし、農産物の販売のほかに、後世に伝えたい料理や珍しい野菜のレシピ集を作成したり、メロンやスイカに食べ頃日付を貼るなど消費者への心配りや、生産者の似顔絵を店内に掲示するなど、女性ならではのレイアウトで工夫を凝らしています。

12月19日、役場において表彰式が行われ、北海道上川総合振興局篠原寛明産業振興部長から最優秀賞が授与されました。

今回の受賞により作倶楽は、平成25年度全国農山漁村女性・シニア活動表彰 女性起業・経営参画部門に北海道代表として推薦される予定です。